

要望事項 (優先順位 2)

京都市岩倉北小学校体育館内の体育器具庫，トイレなどの整備について

要 旨

現岩倉北小学校の体育館は，学校規模からすると手狭で，構造上耐震性に不安があり，器具を収納するための倉庫・便所・更衣室等も備わっていない現状にあります。

このような現状の中，小学生の日常の体育の授業・卒業式等の学校行事，体育振興会のスポーツ活動，地域挙げてのふれあい活動等々，すべてにおいて，体育器具が館内に置かれたままであるため，見栄えがよくないことはもちろん，安全確保ができておらず，常に問題です。行事によっては，スペースの確保に困ることも多くあります。

また，近い将来，大地震が起きる可能性があるといわれている中，我が京都市では，市長をはじめ左京区役所防災担当者からは，小学校体育館を避難所とした訓練の実施や，防災マニュアルの作成を奨められています。

このような現状の中，岩倉北学区自治連合会・自主防災会・学校間で協議を重ねる中，体育器具等を収納できる倉庫を外に設置すると共に，身障者が使用するためのバリアフリー化，避難所としてのトイレの増設等の整備を是非ともお願いいたします。

回 答**(教育委員会)**

本市では，「安心安全な学校づくり」を重要課題の一つと考え，校舎・体育館等の耐震化にいち早く取り組み，23年度までに全校での対策を完了しました。また，建物本体以外の様々な安全対策についても，毎年の専門家による点検に加え，月一回の学校教職員による安全点検の実施など，子どもたちが安心して学校生活を送ることができるよう，危険の度合いに応じた対応に取り組んできたところです。

岩倉北小学校におきましては，これまでから体育館天井撤去及び LED 照明化，雨排水改良工事，北校舎の快適トイレ整備，南北校舎の外壁・雨漏り工事など，また平成27年度には，体育館近接の屋外トイレについてバリアフリー等の諸整備を実施するなど，大規模な工事を集中的に実施してまいりました。

ご要望のトイレや倉庫等の新たな設置につきましては，財政的な問題はもとより，既存建物についても関係法令に基づいた一斉点検・整理が必要となるなど，克服すべき課題が多岐にわたるため，早期対応は困難な状況ですが，全市的に進めている防災機能強化型体育館改築事業の一環として，抜本的な対応が図れるよう検討してまいります。

今後とも，子どもたちの教育環境の充実に加えて，地域の重要な防災拠点として，避難所運営の窓口である区役所とも連携の下，引き続き十分な協議・検討を進めてまいりますので，御理解をいただきますようお願いいたします。